



# HEKIZAN

西東京市立碧山小学校  
校内研究だより  
令和2年10月8日(木)

## Education News

### 2年生「あったらいいな、こんなもの」

2年生は国語の学習で、「あったらいいな、こんなもの」の学習に取り組みました。自分があったらいいなと思うものを考え、その考えたものを相手に分かるように説明する方法を学習し、相手の説明を聞いて、感想や意見を言う活動を行いました。

まず、「自分が町の発明家になったらどんな発明をするか」という視点から、想像をふくらませ、どんなものがあったら良いか考えていきました。初めはどんなものかを考えたらいいのか悩んでいた子どもたちも、自分の生活の中で困っていることや公共の場で目の不自由な方と出会った経験やコロナウイルスが蔓延している状況から、どんなものがあると住みよい街になるのかを考えていきました。「毎週お小遣いが出てくる道具」、「動物と話すことができる道具」、「誰でも自由に動ける靴」など、



3 すべての人に  
健康と福祉を



11 住み続けられる  
まちづくりを



自分の生活に根差したもののから、より良い街づくりにつながるものまで色々な考えが生まれました。

そこから、友達に伝えたいものを選び、その道具について絵を描いたり、道具の名前や機能について考えたりして、より詳しくしていきました。

それをもとに発表や質問を行い、自分の発明した道具をよりよいものにしていきました。

このように普段の授業の中で、SDGsの視点を入れて活動を行うことで、意識を高めていきます。



